

2026（令和8）年度
川崎市立看護大学大学院看護学研究科
【博士前期課程】
【博士後期課程】

学 生 募 集 要 項 (第2期)

目 次

I	教育目標	P 1
II	ディプロマポリシー	P 1
III	アドミッションポリシー	P 2
1	博士前期課程	
2	博士後期課程	
IV	取得できる学位・資格	P 3
V	募集概要	P 5
1	募集人員	
2	入学者選抜試験日程	
3	募集分野・コース・領域一覧	
VI	出願手続き	P 7
1	出願資格	
2	出願前相談	
3	出願資格審査申請	
4	出願	
5	出願の際の注意事項	
VII	入学者選抜	P 13
1	選抜試験実施日	
2	選抜方法	
3	合格発表	
VIII	入学手続き	P 15
1	入学手続き	
2	初年度納付金等	
3	入学日	
4	注意事項	
IX	その他	P 17
1	長期履修制度	
2	試験結果の開示について	
3	個人情報の取扱い	
4	キャンパスについて	
X	研究指導に関わる教員の研究テーマ及び出願前相談連絡先	P 19

本要項の記載内容に変更が生じた場合は、ホームページでお知らせします。

川崎市立看護大学（大学院）公式ホームページ：<https://www.kawasaki-cn.ac.jp/>

I 教育目標

保健医療福祉に関わる課題を科学的に解決する能力を有する教育・研究者、所属する施設等において地域包括ケアシステムの推進役となる人材、高度な専門性と実践力を有する看護職、及び少子化の時代における思春期及び妊娠期から老年期までのライフサイクル全般で女性の性と生殖に関わる健康を支援する人材を養成する。

II ディプロマポリシー

1 博士前期課程

(1) 研究コース

- ア 看護学研究を進める上で必要な研究手法を修得し、設定した研究課題を研究のプロセスに沿って科学的に解決する能力を有している。
- イ 地域や社会の保健医療福祉に関わる課題解決及び看護ケアの向上に資する研究を遂行する能力を有している。
- ウ 保健・医療・福祉専門職として生涯にわたって自己研鑽し続け、プロフェッショナルとしての高い意識と倫理観をもって行動できる力を有している。

(2) 高度実践看護コース

- ア 看護学研究の基本的な研究手法を理解し、専門領域の実践における課題を科学的な視点を持って分析する能力を有している。
- イ 専門領域に精通した臨床判断に基づき、ケアとキュアを融合する看護実践力を有している。
- ウ リーダーシップとフォロワーシップを発揮して多職種・組織メンバーと連携・協働し、より質の高いケアを行うための相談、調整ができる。
- エ 看護職を含む組織のケア提供者に対して、専門的な知識や能力を活用し、教育的役割を果たすことができる。
- オ 患者・利用者・家族に生じている倫理的な問題や葛藤の解決をはかり、患者・利用者・家族の権利、尊厳を守ることができる。

(3) 助産コース

- ア 看護学研究の基本的な研究手法を理解し、助産領域の実践における課題を科学的な視点を持って分析する能力を有している。
- イ 専門化・複雑化する助産分野に対応できる助産実践能力と助産管理の基盤となる能力を有している。
- ウ 周産期のみならずライフサイクル全般にあるすべての女性、子ども、家族そして地域社会に対して健康増進を考え、生命への尊厳を持って、個人の価値観を尊重した適切な相談、教育、支援を行うことができる。

2 博士後期課程

- (1) 看護学における理論的基盤の構築や実践の改革を目指す研究を自立して行う能力を有している。
- (2) 変化し続ける地域や社会の保健医療福祉におけるニーズに対応し、研究を通じてケアの質保証・質向上に貢献する能力を有している。
- (3) 看護学研究において、次世代を教育する能力を有している。
- (4) 学際的かつグローバルな観点に立って看護の課題に取り組み、リーダーシップを発揮し、社会に発信していく能力を有している。

Ⅲ アドミッションポリシー

1 博士前期課程

- (1) 幅広い基礎学力を有し、かつ希望する専門領域の基礎知識を有する人
- (2) 人間や社会に対して広く興味を持ち、豊かな人間性と高い倫理観を有する人
- (3) 看護学を通じて地域包括ケアシステムの改善・発展に貢献する意志を有する人
- (4) 高度実践看護コース志望者は、対応する専門領域の職務経験を有し、専門看護師の資格取得を志す人
- (5) 助産コース志願者は、助産師の免許取得を志す人で、看護師資格又は看護師国家試験受験資格を有する人

2 博士後期課程

- (1) 職務に関する知見を有し、看護学への探求心を有する人
- (2) 看護学研究に対する強い動機と基礎的研究能力を身に付け、自立して学修する姿勢を有する人
- (3) 研究を通して、看護学や看護実践の発展に寄与するとともに、地域社会及び国際社会に貢献する意志を有する人

IV 取得できる学位・資格

1 博士前期課程

(1) 学位

コース	学位
研究コース	修士（看護学）
高度実践看護コース	
助産コース	

(2) 資格

コース	領域	資格（予定）
研究コース	看護マネジメント学	認定看護管理者認定審査受験資格※ ¹
	医療経営学	
高度実践看護コース※ ²	高度実践感染看護学	感染症看護専門看護師認定審査受験資格※ ³
	高度実践家族看護学	家族支援専門看護師認定審査受験資格※ ³
	高度実践クリティカルケア看護学	急性・重症患者看護専門看護師認定審査受験資格※ ³
	高度実践精神看護学	精神看護専門看護師認定審査受験資格※ ³
	高度実践在宅看護学	在宅看護専門看護師認定審査受験資格※ ³
助産コース	助産学	助産師国家試験受験資格
		新生児蘇生法普及事業（NCPR）「専門コース」修了認定
		日本母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）「ベーシックコース」受講認定

※¹ 日本看護協会が認定する認定看護管理者の認定審査受験資格は、日本国の看護師免許を有し、看護免許取得後通算5年以上の実務経験があり、かつ、看護管理に関連する学問領域を修了することで取得できます（2025年度の認定審査までは「通算3年以上の看護師長相当以上の看護管理の経験」が更に必要となります）。

※² 希望者は、厚生労働省で定める特定行為研修について、専門領域と関連する特定行為研修区分別科目の所定単位を修得することで修了証を取得できます。次の2パッケージ、4区分について、厚生労働省より指定研修機関の指定を受けています。

【指定を受けている特定行為研修】

在宅・慢性期領域パッケージ、外科術後病棟管理領域パッケージ、呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、感染に係る薬剤投与関連、精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

※³ 日本看護協会が認定する専門看護師認定審査受験資格を得るには、高度実践看護コースを修了（日本看護系大学協議会が定める高度実践看護師教育課程基準の所定の単位を取得）した上で、看護師免許を取得後、実務研修が5年以上あり、そのうち3年以上の専門看護分野の実務研修が必要となります。高度実践看護師教育課程の認定申請は大学院の設置認可後に行うこととされているため、2025年7月に申請を行っています。

2 博士後期課程

(1) 学位

博士（看護学）

V 募 集 概 要

1 募集人員

(1) 博士前期課程

ア 研究コース及び高度実践看護コース 13 人

イ 助産コース 1 人

(2) 博士後期課程

3 人

2 入学者選抜試験日程

すべての募集区分、選考区分において同一の日程となります。

出願しようとする方は、**必ず出願前に**大学院入学後の履修計画や研究計画等について、指導を受けようとする教員に出願前相談（9 ページ参照）を行う必要があります（必須）。

出願書類は出願期間必着とします。出願締切日以降に到着した場合、出願は認められません。

出願手続の詳細は「VI 出願手続き」（7 ページ）をご覧ください。

出願資格審査期間	令和 7 年 11 月 14 日(金)から令和 7 年 11 月 25 日(火)まで
出 願 前 相 談 期 間	本募集要項公開後から令和 7 年 12 月 22 日（月）まで
出 願 期 間	令和 7 年 12 月 12 日（金）から令和 7 年 12 月 22 日（月）まで
試 験 日	令和 8 年 1 月 24 日（土）
合 格 発 表 日	令和 8 年 1 月 30 日（金）13 時頃
入学手続き期限	令和 8 年 2 月 6 日（金）

3 募集分野・コース・領域一覧

(1) 博士前期課程

分野	コース	領域
基盤看護学分野	研究コース	看護援助学
		看護マネジメント学
		感染看護学
		家族看護学
	高度実践看護コース	高度実践感染看護学
		高度実践家族看護学
地域包括ケア看護学分野	研究コース	成人看護学
		小児看護学
		老年看護学
		精神看護学
		在宅看護学
		公衆衛生看護学
		医療経営学
	高度実践看護コース	高度実践クリティカルケア看護学
		高度実践精神看護学
		高度実践在宅看護学
助産学分野	助産コース	助産学

(2) 博士後期課程

分野	領域
基盤看護学分野	看護援助学
	感染看護学
地域包括ケア看護学分野	老年看護学
	精神看護学
	公衆衛生看護学
	医療経営学

Ⅵ 出 願 手 続 き

1 出願資格

(1) 博士前期課程

ア 研究コース

(ア) 一般選抜

次の a から k までのいずれかに該当する者。ただし、i 及び j で出願することを希望する者は、事前に出願資格審査（10 ページ参照）を受ける必要があります。

- a 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者（又は入学前年度 3 月までに卒業見込みの者）
- b 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者（又は入学前年度 3 月までに授与される見込みの者）
- c 外国において、学校教育による 16 年の課程を修了した者（又は入学前年度 3 月までに修了見込みの者）
- d 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者（又は入学前年度 3 月までに修了見込みの者）
- e 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（又は入学前年度 3 月までに修了見込みの者）
- f 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（又は入学前年度 3 月までに授与される見込みの者）
- g 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（又は入学前年度 3 月までに修了見込みの者）
- h 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- i 短期大学及び高等専門学校を卒業した者、専修学校専門課程の修了者等で、看護師国家資格を有し、かつ、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者（入学年度 4 月 1 日時点満 22 歳以上の者に限る）
- j 上記 a から i に該当しない者のうち、本学において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- k 大学に 3 年以上在学した者（学校教育法施行規則第 160 条に規定する大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者に準ずる者を含む）であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められる者（出願を希望する場合は令和 7 年 7 月 14 日までに本学に御連絡ください）

(イ) 社会人選抜

次のすべてに該当する者

- a 博士前期課程（研究コース）一般選抜の出願資格を満たす者
- b 入学年度の4月1日時点で満25歳以上の者
- c 看護職に限らず3年以上の保健・医療・介護・社会福祉サービス等に係る職務経験を有する者

イ 高度実践看護コース

(ア) 一般選抜

次のすべてに該当する者。

- a 博士前期課程（研究コース）一般選抜の出願資格を満たす者
- b 看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を有し、看護職として、当該専門領域において3年以上の職務経験を有する者

(イ) 社会人選抜

次のすべてに該当する者

- a 博士前期課程（研究コース）社会人選抜の出願資格を満たす者
- b 看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を有する者
- c 看護職として、当該専門領域において3年以上の職務経験を有する者

ウ 助産コース

(ア) 一般選抜

次のすべてに該当する者

- a 博士前期課程（研究コース）一般選抜の出願資格を満たす者
- b 看護師の資格を有する者、又は看護師国家試験受験資格を有し看護師国家資格を入学前年度3月までに取得見込みの者

(イ) 社会人選抜

次のすべてに該当する者

- a 博士前期課程（研究コース）社会人選抜の出願資格を満たす者
- b 看護師資格を有する者
- c 3年以上の看護職としての職務経験を有する者

(2) 博士後期課程

ア 一般選抜

次の（ア）から（キ）までのいずれかに該当する者。

ただし、（カ）及び（キ）で出願することを希望する者は、事前に出願資格審査（10 ページ参照）を受ける必要があります。

（ア）修士の学位や専門職学位を有する者（又は入学前年度3月までに取得見込みの者）

（イ）外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（又は入学前年度3月までに授与される見込みの者）

（ウ）外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（又は入学前年度3月までに授与される見込みの者）

- (エ) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（又は入学前年度3月までに授与される見込みの者）
- (オ) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（又は入学前年度3月までに授与される見込みの者）
- (カ) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - a 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
 - b 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (キ) 本学において、出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学年度4月1日時点満24歳以上の者

イ 社会人選抜

次のすべてに該当する者

- (ア) 博士後期課程一般選抜の出願資格を有する者
- (イ) 看護職に限らず3年以上の保健・医療・介護・社会福祉サービス等に係る職務経験を有する者

ウ 内部進学者選抜

本学大学院看護学研究科博士前期課程を入学前年度3月に修了見込の者

2 出願前相談

本学大学院への入学を希望する方は、**必ず出願前に**大学院入学後の履修計画や研究計画等について、指導を受けようとする教員と相談をする必要があります（**出願期間に出願書類の提出が間に合うように行ってください**）。

(1) 出願前相談開始日

本要項公開以降

(2) 申込方法

出願前相談の申込みは電子メールにより受け付けます。「X 研究指導に関わる教員の研究テーマ及び出願前相談連絡先一覧」（19ページ）を御確認いただき直接教員へ御連絡ください。

なお、送信する電子メールは、件名を「博士前期課程出願前相談の申込について」（又は、「博士後期課程出願前相談の申込について」）とし、メール本文に、①志願者氏名、②連絡先（メールアドレス、電話番号）、③最終学歴、④検討しているコース及び入試区分、⑤大学院での研究テーマ等を御記載ください。

後日、教員から出願前相談の方法及び日程について、電子メール又は電話にて御連絡します。

(3) 相談及び確認する内容

ア 看護への関心度や学習意欲、地域包括ケアシステム等、保健、医療、介護、福祉の現状に対する課題等を含む、研究テーマ・研究内容について

- イ 看護師、保健師、助産師の職務経験、保健、医療、介護、社会福祉サービス等に係る職務経験、関連資格の取得状況
- ウ 本研究科修了後の看護学および社会への貢献
- エ その他、出願手続きや入学後の学修に関する事項

(4) 特定行為研修を検討している場合

大学院修了後の臨地における特定行為の実践は、大学院で実習を担当した指導担当者の継続した指導や助言を受けることができる環境が重要と考え、臨地実習は現在勤務している医療機関（以下、「自施設」といいます。）での実習を原則とし、推奨しています。自施設での実習に関して、実習協力施設として登録をはじめ連携協力体制として指導者、医療安全管理、緊急時の対応、同意説明、症例数の確保等を満たす書類の作成にご協力いただきます。そのため、事前に自施設と相談した上で、出願前相談を行ってください。

3 出願資格審査申請（該当者のみ）

「1 出願資格」において事前に出願資格審査を要するとされている方は、次のとおり出願資格審査申請を行う必要があります。

(1) 申請期間

令和7年11月14日（金）から令和7年11月25日（火）まで（必着）

(2) 提出書類

様式3 研究業績等調書	本学ホームページからダウンロードしてください。
様式4 出願用履歴書	本学ホームページからダウンロードしてください。
様式6 出願資格審査申請書	本学ホームページからダウンロードしてください。
卒業（修了）証明書 又は卒業（修了）見込証明書	出身学校（最終学歴）において作成したもの。 出願資格審査申請書と姓が異なる場合には戸籍抄本又は戸籍 個人事項証明書を添付してください。
看護師免許の写し	7ページiの資格で受験する方は提出してください。 出願資格審査申請書と姓が異なる場合には戸籍抄本又は戸籍 個人事項証明書を添付してください。
返信用封筒（定形長形3号封筒）	出願される方の郵便番号、住所、氏名を御記入ください。 定形50gかつ簡易書留分の切手を貼り付けください。

(3) 提出方法

次の送付先に定形外角形2号封筒に封入し、書留速達郵便で御郵送ください。また、封筒の表面に朱書きで「出願資格審査申請書類在中」と御記入ください。なお、申請期間必着としますので発送日に御注意ください。

送付先	〒212-0054 神奈川県川崎市幸区小倉4-30-1 川崎市立看護大学事務局総務学生課 大学院入試担当
-----	---

(4) 結果通知

令和7年12月8日(月)までに「出願資格審査結果通知」を「出願資格審査申請書」に御記入いただいた住所に郵送し、通知します。なお、郵便事情により送達日が前後する場合があります。

4 出願

(1) 出願期間

令和7年12月12日(金) から令和7年12月22日(月) まで(必着)

(2) 入学選考料

本学に入学を希望する方は入学選考料として30,000円を納付する必要があります。30,000円の普通為替証書を出願書類と併せて送付してください。ただし、川崎市立看護大学(看護学研究科を含む)に学籍を有する場合は、入学選考料は不要です。

なお、一度納付された入学選考料は原則として返還しません。ただし、次に該当する場合のみ、その全部又は一部を返還します。返還に伴う手数料は、返還額から差し引くものとします。

- ア 出願が受理されなかった方で本学に連絡を行い、入学選考料の返還について意志を表明した場合
- イ その他市長が特別な理由があると認めた場合

(3) 提出書類

様式1 入学願書	本学ホームページからダウンロードしてください。 課程、コースによって書式が異なりますので御注意ください。
受験者の顔写真	縦4.0cm×横3.0cmのものを3枚。全ての裏面に氏名を記入したうえで1枚は様式1に貼り付けてください。残りの2枚は貼り付けせずにそのまま提出してください。 なお、写真は出願前3カ月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背景でカラーのものとしてください。
様式2 研究計画書	本学ホームページからダウンロードしてください。
様式3 研究業績等調書	本学ホームページからダウンロードしてください。 出願資格審査申請のために提出済みの場合は不要です。
様式4 出願用履歴書	本学ホームページからダウンロードしてください。 出願資格審査申請のために提出済みの場合は不要です。
様式5 承諾書	高度実践看護コースに出願する方で、かつ就業している方のみ。就業先にて御作成ください。
卒業(修了)証明書 又は卒業(修了)見込証明書	出身学校において作成したもの。 出願資格審査申請のために提出済みの場合は不要です。 入学願書と姓が異なる場合には戸籍抄本又は戸籍個人事項証明書を添付してください。

※次ページに続きます。

学位授与証明書	7ページbの資格で出願する方は提出してください。 入学願書と姓が異なる場合には戸籍抄本又は戸籍個人事項証明書を添付してください。
看護師（又は保健師、助産師）免許証の写し 又は資格が確認できる書類	高度実践看護コース又は助産コースに出願する方のみ。 出願時点で取得見込みの方は、「看護師学校養成所の卒業（修了）見込証明書」を代わりに提出してください。 入学願書と姓が異なる場合には戸籍抄本又は戸籍個人事項証明書を添付してください。
出願資格審査結果通知の写し	出願資格審査の対象となる方のみ。 本学が発行したもの。
入学選考料納付用の普通為替証書	ゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で振出（取得）してください。振出には手数料がかかります。金額（30,000 円）を間違えないよう御注意ください。振出した証書には何も記入せずにお送りください。
返信用封筒（定形長形3号封筒）	出願される方の郵便番号、住所、氏名を御記入ください。 定形50gかつ簡易書留分の切手を貼り付けてください。
様式8 出願書類チェックリスト	本学ホームページからダウンロードしてください。

（4）提出方法

次の送付先に定形外角形2号封筒に封入し、書留速達郵便で御郵送ください。また、封筒の表面に朱書きで「大学院出願書類在中」と御記入ください。なお、出願期間必着としますので発送日に御注意ください。出願締切日以降に到着した場合、出願は認められません。

送付先	〒212-0054 神奈川県川崎市幸区小倉4-30-1 川崎市立看護大学事務局総務学生課 大学院入試担当
-----	--

5 出願の際の注意事項

- （1）出願書類等に不備がある場合は受理しません。
- （2）出願書類は返還しません。
- （3）出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- （4）提出書類が外国語で作成されている場合、日本語訳を作成し添付してください。
- （5）本学で様式が指定されている場合は、必ず指定の様式を使用してください。
- （6）助産コースにおいて、履修単位並びに実習単位が多いことから、就業を継続することが困難となる場合があります。
- （7）高度実践看護コースにおいて、実習単位数が多いことから、就業している方は、実習期間中の勤務時間等について就業先と調整し、承諾を得る必要があります（出願時に「様式5 承諾書」にて、承諾を得ていることを確認します。）。

Ⅶ 入 学 者 選 抜

1 選抜試験実施日

令和8年1月24日（土）

2 選抜方法

筆記試験（英語）については、語学辞書1冊（電子辞書不可）の持ち込みを許可します。

（1）博士前期課程

一般選抜においては、筆記試験（英語（90分）及び看護専門科目（60分））及び面接試験の結果を総合して選抜します。

社会人選抜においては、筆記試験（英語（90分）及び看護専門科目（60分））及び面接試験（職務経験内容を含む）の結果を総合して選抜します。

入 試 区 分	試 験 内 容		
	配 点		
一般選抜（研究コース）及び 一般選抜（高度実践看護コース）	英語（読解）	看護専門（記述式）	面接
	30	30	40
一般選抜（助産コース）	英語（読解）	看護専門（記述式）	面接
	30	30	40
社会人選抜（研究コース）及び 社会人選抜（高度実践看護コース）	英語（読解）	看護専門（記述式）	面接
	20	30	50
社会人選抜（助産コース）	英語（読解）	看護専門（記述式）	面接
	20	30	50

（2）博士後期課程

一般選抜においては、筆記試験（英語（90分））及び口頭試験の結果を総合して選抜します。

社会人選抜においては、筆記試験（英語（90分））及び口頭試験（職務経験内容を含む）の結果を総合して選抜します。

内部進学者選抜においては、口頭試験の結果で選抜します。

なお、口頭試験は7分間の研究計画の発表を含む20分間とします。

入 試 区 分	試 験 内 容	
	配 点	
一般選抜	英語（読解）	口頭試験（研究計画の発表を含む）
	40	60
社会人選抜	英語（読解）	口頭試験（研究計画の発表を含む）
	30	70
内部進学者選抜	英語（読解）	口頭試験（研究計画の発表を含む）
	－	100

3 合格発表

(1) 合格発表日時

令和8年1月30日（金）13時頃

(2) 発表方法

本学公式ホームページで合格者の受験番号を合格発表日から1週間公表します。また、合格者へ合格通知書及び入学手続きに要する書類を入学願書に記載の住所へ郵送します。

※電話その他によるお問合せには一切応じません。

※不合格者に対しての通知は行いません。

Ⅷ 入 学 手 続 き

1 入学手続き

(1) 入学料

本学に入学する方は入学料として 282,000 円（本人又はその配偶者若しくは 1 親等の親族が令和 7 年 4 月 1 日以前から引き続き川崎市内に住所を有している場合、又は本人が令和 7 年 4 月 1 日以前から引き続き川崎市内に就業している場合は、141,000 円）を本学指定の納付書にて納付する必要があります。入学料の領収書は入学手続きに使用しますので大切に保管してください。

なお、一度納付された入学料は原則として返還しません。

(2) 入学手続き期限

令和 8 年 2 月 6 日（金）まで（必着）

(3) 提出書類

誓約書 兼 保証書	合格通知と併せて書式を郵送します。
卒業（修了）証明書	出願時に見込証明書を提出していた場合。 入学手続き時にも発行されない場合は、発行され次第提出してください。
看護師（又は保健師、助産師）免許証の写し 又は資格が確認できる書類	出願時に取得見込みとしていた場合。 入学手続き時にも発行されない場合は、発行され次第提出してください。
入学料を納付したことが確認できる書類の写し	入学料を納付した際に発行された納付書の写し。
返信用封筒（定形長形 3 号封筒）	出願される方の郵便番号、住所、氏名を御記入ください。 定形 50 g かつ簡易書留分の切手を貼り付けください。

※その他にも入学に係る書類、手続きが複数あります。詳細については、合格後に郵送、メール等にて御連絡します。なお、連絡は入学願書に記載の住所、電話番号、メールアドレス宛てに行いますので、間違いのないよう注意して記入してください。

(4) 提出方法

次の送付先に定形外角形 2 号封筒に封入し、書留速達郵便で御郵送ください。また、封筒の表面に朱書きで「大学院入学書類在中」と御記入ください。なお、入学手続き期限必着としますので発送日に御注意ください。入学手続き期限以降に到着した場合、入学は認められません。

送付先	〒212—0054 神奈川県川崎市幸区小倉 4—30—1 川崎市立看護大学事務局総務学生課 大学院入試担当
-----	---

(5) 入学の許可

入学手続き書類の受領後、「入学許可書」を入学願書に記載の住所へ郵送します。

2 初年度納付金等

入学料	282,000 円（本人又はその配偶者若しくは1親等の親族が令和7年4月1日以前から引き続き川崎市内に住所を有している場合、又は本人が令和7年4月1日以前から引き続き川崎市内に就業している場合は、141,000 円）
授業料	535,800 円／年 2年目以降も同額となります。 長期履修制度を利用した場合は2年間分（1,071,600 円）を3年間でお支払いいただきます。詳細は「IX_その他」の「1 長期履修制度」（17 ページ）を御確認ください。
保険料	3,000 円～9,000 円／年 一般社団法人日本看護学校協議会共済会の総合保障制度「Will」を御紹介します（保障タイプによって金額が異なります。）。 博士前期課程の高度実践看護コース及び助産コースに入学される方には、加入をお願いしております。その他の課程、コースに入学される方は任意での加入となります。 保険料は入学時に修業年限分（博士前期課程2年（長期履修制度利用時は3年）、博士後期課程3年）をお支払いいただきます。

3 入学日

令和8年4月1日（水）

入学式の詳細については、入学手続き完了後に別途御案内します。

4 注意事項

- （1）期限内に入学手続きを完了しなかった場合は、入学の意思がなく、入学を辞退したものとみなします。
- （2）出願時に見込みとしていた卒業（修了）について、卒業（修了）できなかった場合、入学できません。
- （3）出願時に取得見込みとしていた国家資格について、取得できなかった場合、入学できません。

IX そ の 他

1 長期履修制度

助産コースを除く博士前期課程に限り、職業を有するなどの理由により、標準修業年限（2年間）では大学院の教育課程の履修が困難な場合、標準修業年限を1年間延長し、3年間の上限とした長期の修業年限を設定することができる長期履修制度を設けています。

本制度を利用する場合は、出願時に申し出が必要となります。（様式1入学願書の該当欄に○を記入）

なお、本制度を利用した場合でも追加の授業料は発生しません。次の表のとおり2年間分の授業料を3年間でお支払いいただきます。

	1年目	2年目	3年目	合計
長期履修制度なし	535,800円	535,800円	—	1,071,600円
長期履修制度あり	357,200円	357,200円	357,200円	1,071,600円

※ 履修期間を短縮（3年間の予定を2年間に短縮）した場合、3年目にお支払いいただく予定の357,200円を2年目にお支払いいただきます。

2 試験結果の開示について

受験者本人の請求により、入学者選抜の個人成績を開示します。

（1）受付期間

令和8年1月30日（金）から令和8年2月6日（金）まで（消印有効）

（2）提出書類

様式7 成績開示申請書	本学ホームページからダウンロードしてください。
返信用封筒（定形長形3号封筒）	出願される方の郵便番号、住所、氏名を御記入ください。 定形50gかつ簡易書留分の切手を貼り付けてください。

（3）提出方法

次の送付先に定形長形3号封筒に封入し、書留郵便で御郵送ください。また、封筒の表面に朱書きで「成績開示請求書類在中」と御記入ください。

送付先	〒212-0054 神奈川県川崎市幸区小倉4-30-1 川崎市立看護大学事務局総務学生課 大学院入試担当
-----	---

（4）開示内容

選抜試験の総合得点

（5）開示時期

成績開示申請書受領後、3週間程度で申請書に記載の住所へ郵送します。

3 個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「川崎市情報セキュリティ基準」等に基づいて厳正に取り扱います。

4 過去問題の閲覧

第1キャンパスの事務局窓口にて過去問題を閲覧いただけます。

平日の8時30分から17時00分の間にお越しください。

5 キャンパスについて

第1キャンパス 神奈川県川崎市幸区小倉4-30-1（博士前期課程助産コースのみ使用予定）

第2キャンパス 神奈川県川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティア・ビル10階

X 研究指導に関わる教員の研究テーマ及び出願前相談連絡先

1 博士前期課程

(1) 研究コース

教育分野	専門領域	担当教員 及び連絡先	研究領域
基盤看護学分野	看護援助学	掛田 崇寛 kakeda-t@kawasaki-cn.ac.jp	疼痛看護、看護ケア技術開発
		佐藤 文 sato-a@kawasaki-cn.ac.jp	排泄・ストーマケア、創傷・スキンケア、高齢者の慢性浮腫、フットケア
	看護マネジメント学	豊増 佳子 toyomasu-k@kawasaki-cn.ac.jp	看護教育、看護管理、看護情報、遠隔看護
	感染看護学	岡田 忍 okada-s@kawasaki-cn.ac.jp	高齢者の口腔ケア・スキンケア、在宅における感染防止
		川上 和美 kawakami-k@kawasaki-cn.ac.jp	医療関連感染予防、手指衛生、感染リスクアセスメント、抗菌薬適正使用、高齢者施設
	家族看護学	荒木田 美香子 arakida-m@kawasaki-cn.ac.jp	母子・成人保健と家族支援、発達障害と家族支援
		田中 千代 tanaka-c@kawasaki-cn.ac.jp	小児看護、思春期看護、小児在宅ケア
	地域包括ケア看護学分野	成人看護学	糸井 裕子 itoi-y@kawasaki-cn.ac.jp
田中 範佳 tanaka-n@kawasaki-cn.ac.jp			周術期看護、急性期看護
松田 有子 matsuda-y@kawasaki-cn.ac.jp			救急看護、周術期看護、産業看護
小児看護学		田中 千代 tanaka-c@kawasaki-cn.ac.jp	小児看護、思春期看護、小児在宅ケア
老年看護学		佐藤 文 sato-a@kawasaki-cn.ac.jp	排泄・ストーマケア、創傷・スキンケア、高齢者の慢性浮腫、フットケア
精神看護学		廣川 聖子 hirokawa-s@kawasaki-cn.ac.jp	自殺予防、アウトリーチ
在宅看護学		木全 真理 kimata-m@kawasaki-cn.ac.jp	訪問看護、地域包括ケアシステム
		湯本 晶代 yumoto-a@kawasaki-cn.ac.jp	訪問看護、在宅における認知症ケア
公衆衛生看護学		荒木田 美香子 arakida-m@kawasaki-cn.ac.jp	母子・学校保健、成人・産業保健、健康教育、健康関連尺度開発

	医療経営学	羽田 明浩 haneda-a@kawasaki-cn.ac.jp	医療経営戦略、ヘルスケア組織論、経営分析、マーケティング
--	-------	-------------------------------------	------------------------------

(2) 高度実践看護コース

教育分野	専門領域	担当教員 及び連絡先	研究領域
基盤看護学分野	高度実践 感染看護学	岡田 忍 okada-s@kawasaki-cn.ac.jp	高齢者の口腔ケア・スキンケア、在宅における感染防止
		川上 和美 kawakami-k@kawasaki-cn.ac.jp	医療関連感染予防、手指衛生、感染リスクアセスメント、抗菌薬適正使用、高齢者施設
	高度実践 家族看護学	荒木田 美香子 arakida-m@kawasaki-cn.ac.jp	母子・成人保健と家族支援、発達障害と家族支援
地域包括ケア 看護学分野	高度実践 クリティカルケア 看護学	田中 範佳 tanaka-n@kawasaki-cn.ac.jp	周術期看護、急性期看護
	高度実践 精神看護学	廣川 聖子 hirokawa-s@kawasaki-cn.ac.jp	自殺予防、アウトリーチ
		嵐 弘美 arashi-h@kawasaki-cn.ac.jp	メンタルヘルスケア、高度実践看護、リエゾン精神看護
	高度実践 在宅看護学	木全 真理 kimata-m@kawasaki-cn.ac.jp	訪問看護、地域包括ケアシステム
		湯本 晶代 yumoto-a@kawasaki-cn.ac.jp	訪問看護、在宅における認知症ケア

(3) 助産コース

教育分野	専門領域	担当教員 及び連絡先	研究領域
助産学分野	助産学	山崎 由美子 yamazaki-y@kawasaki-cn.ac.jp	周産期医療過誤、助産師教育、周産期メンタルヘルス

2 博士後期課程

教育分野	専門領域	担当教員 及び連絡先	研究領域
基盤看護学分野	看護援助学	掛田 崇寛 kakeda-t@kawasaki-cn.ac.jp	疼痛看護、看護ケア技術開発
		佐藤 文 sato-a@kawasaki-cn.ac.jp	排泄・ストーマケア、創傷・スキンケア、高齢者の慢性浮腫、フットケア
		糸井 裕子 itoi-y@kawasaki-cn.ac.jp	がん看護、慢性期看護、看護教育
		田中 範佳 tanaka-n@kawasaki-cn.ac.jp	周術期看護、急性期看護
	感染看護学	岡田 忍 okada-s@kawasaki-cn.ac.jp	高齢者の口腔ケア・スキンケア、在宅における感染防止
		川上 和美 kawakami-k@kawasaki-cn.ac.jp	医療関連感染予防、手指衛生、感染リスクアセスメント、抗菌薬適正使用、高齢者施設
地域包括ケア看護学分野	老年看護学	佐藤 文 sato-a@kawasaki-cn.ac.jp	排泄・ストーマケア、創傷・スキンケア、高齢者の慢性浮腫、フットケア
	精神看護学	廣川 聖子 hirokawa-s@kawasaki-cn.ac.jp	自殺予防、アウトリーチ
	公衆衛生看護学	荒木田 美香子 arakida-m@kawasaki-cn.ac.jp	母子・学校保健、成人・産業保健、健康教育、健康関連尺度開発
	医療経営学	羽田 明浩 haneda-a@kawasaki-cn.ac.jp	医療経営戦略、ヘルスケア組織論、経営分析、マーケティング



〒212-0054

川崎市幸区小倉4丁目30番1号

TEL 044-587-3503

URL <http://www.kawasaki-cn.ac.jp/>

